



12月17日 西伊豆中学校2年生修学旅行(奈良公園)

12月定例会・臨時会

一般質問

議会の動き

視察研修報告ほか

2～4

6～13

14～15

16～17

議会だより、定例会一般
質問動画は、西伊豆町
ホームページでもご覧に
なれます。



旧西伊豆中学校裏山切土調査決定

開催期間	12月3日から12月5日まで
審議した案件	町長提出議案 16件 発議1件
可決した議案	令和6年度一般会計補正予算（第9号）（第10号） 介護保険事業特別会計、水道事業会計、温泉事業会計、サンセットコイン事業特別会計の補正予算 田子診療所、安良里診療所、はんばた市場、こがねすと、町内12施設指定管理の指定 西伊豆町企業版ふるさと納税基金条例制定、条例改正2件、規約改正2件

こんなことが、決まりました。

一般会計補正予算第10号 （賛成6：反対3）

歳入歳出にそれぞれ950万円を追加し、予算総額は86億2880万7千円です。

歳入は、財政調整基金からの繰入金です。歳出は、認定こども園候補地に係る旧西伊豆中学校裏山切土調査費です。

主な質疑は次のとおりです。

問 調査内容は。

答 現地調査及び法規制調査と造成の基本設計、残土処理方法、進入路の概略設計などです。

反対討論 調査は多額の費用がかかる上に、時間とお金を無駄にすることになり、今回の調査費は合理的では

なく反対します。

賛成討論 保護者から要望書が出されたことや仁科に集約してほしいとの考えのもと、建設可能か調査していただきたいことから賛成します。

反対討論 答申と別のことをやるのであれば、多くの方の理解が必要であるが理解が得られていない。また調査することにより、費用の増額、開園の遅延に繋がるとの懸念から反対します。

賛成討論 行き詰った文教施設建設に新たな可能性を探る重要な調査費であり、施策を一步前に進めるための手段として必要な経費なので賛成します。

反対討論 議員からの要望に基づき一足飛びに予算化するのではなく他の候補地の結論が出てから行うべき、候補地として挙がっていない所を第一に調査することは、文教施設整備委員会を無視することで、町政を混乱させる恐れがあるため、反対します。

賛成討論 安良里中田避難地付近は、不适当との議員が過半数を占め委員会報告もされ、保護者から仁科に建設を望む意見が多数挙がり、要望されたものである。保護者の意見は無視できません。調査内容も候補地に値するかを判断する上で必要との思いから賛成します。

旧西伊豆中学校裏山切土調査費補正予算可決の経緯

- ・ 11月18日認定こどもPTAが町長と議長に切土調査予算措置の要望書提出
- ・ 11月20日合同常任委員会はダンプ影響調査（11月15日）を踏まえた検討結果を議長に報告（検討結果：影響が大きく中田避難地が適さない6名、大きな障害はない4名）
- ・ 11月21日議長が町長に調査結果を報告
同日、議員有志6名が事前調査費の予算措置を町長に要望

一般会計補正予算(第9号) 原案（賛成7：反対2）

歳入歳出にそれぞれ5922万4千円を追加し、予算総額は86億1930万7千円です。

歳入の主なものは国庫負担金1522万5千円と財政調整基金繰入2014万4千円です。歳出の主なものは自立支援給付費3797万4千円、廃棄物処理費850万円です。

一般会計補正予算(第9号) 修正案（賛成2：反対7）

歳入ふるさと応援基金繰入金500万円を0円にし、歳出伊豆海認定こども園費の備品購入費500万円を0円に減額したいものです。

【修正案提出者への質疑】

問 津波シェルターは、復原力など疑問があり安全確保が確約されないと思われるので、より性能の高いものを購入すべきとしているが、具体的にどのようなものか。

答 国土交通省が推薦する救命艇です。

【討論】

修正案に賛成 救命艇は、国のガイドラインがあるものの絶対安全とは言えない

が、津波避難シェルターよりガイドラインに沿った救命艇を購入すべきで、修正案に賛成します。

原案に賛成 救命艇は、場所の確保が必要であり、津波シェルターは実際に見て、信用性の高いものである。一時的な津波から逃れることが十分できると思いますので原案に賛成します。

田子診療所の指定管理者の指定（賛成8：反対1）

公益社団法人 地域医療振興協会へ10年間運営交付金総額7000万円で指定が決定しました。（非公募）
契約期間 7年4月1日から17年3月31日まで

安良里診療所の指定管理者の指定（全員賛成）

公益社団法人 地域医療振興協会へ10年間運営交付金総額4000万円で指定が決定しました。（非公募）
契約期間 7年4月1日から17年3月31日まで

仁科地区農林水物等直売所「はんばた市場」の指定管理者の指定（全員賛成）

西伊豆産地直売企業組合へ5年間指定管理料総額0円で指定が決定しました。（非公募）
契約期間 7年4月1日から12年3月31日まで

黄金崎公園休憩施設「こがねすと」の指定管理者の指定（全員賛成）

伊豆半島ジオガイド協会へ5年間指定管理料総額1850万円で指定が決定しました。（非公募）
契約期間 7年4月1日から12年3月31日まで

町有12施設の指定管理者の指定（全員賛成）

ビル保善グループへ5年間指定管理料総額3億3859万2千円で指定が決定しました。
公募を行い、2団体の応募があり、プロポーザル審査を実施しました。
契約期間 7年4月1日から12年3月31日まで

第4回臨時会

令和6年10月21日

旧西伊豆中学校へ延びる 仮設道路を町道に

専決処分の承認

一般会計補正予算（第7号）
（全員賛成）

衆議院議員選挙にかかる費用の補正です。1050万円を増額します。

令和6年災 査定第3号
（普）浜川災害復旧工事請負契約の締結（全員賛成）

安良里の普通河川浜川の災害復旧工事の契約です。

契約の方法は指名競争入札。金額は6296万4千円です。工期は7年3月26日まで。本来の工期は7カ月程度かかる予定であり、当初から正当な工期設定をしなかったのですが、国の手続きによりできませんでした。今後、工期延長を行いたいと考えます。

問 補正予算は8800万円だったか。

答 災害査定前でしたので、高い工法を選択した場合の予算で計上しました。入札差金による減額もあります。

問 落札率99%台の入札が続く傾向が解消されないか。

答 受注意欲をもって入札に臨むよう業者にお願いしていきます。

一般会計補正予算（第8号）
（全員賛成）

896万9千円を追加し、予算総額を85億6008万3千円としたいものです。

歳入の主なものは、財政調整基金繰入金413万6千円、土木費国庫補助金117万9千円、同県補助金88万4千円などです。

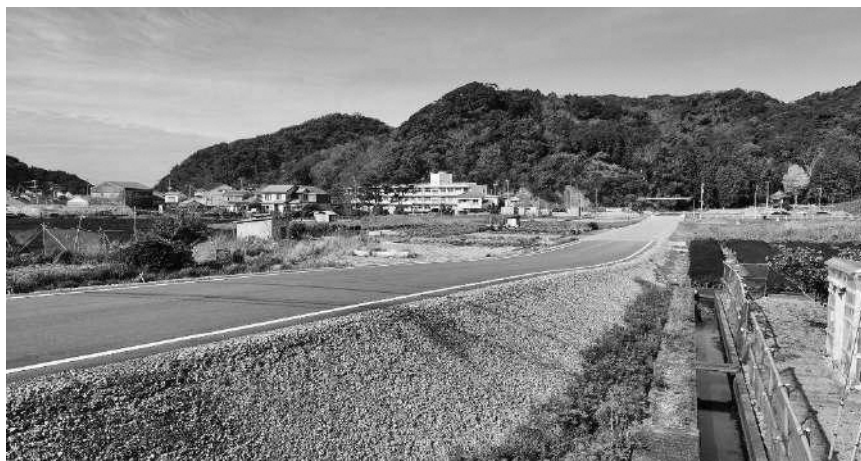
歳出の主なものは、旧西伊豆中学校付近の仮設道路を町道に整備するための設計委託費300万円、わが家の耐震診断事業増額分の事業費235万9千円などです。

県工事発生土受入手数料

120万円

県から町が受け取る手数料です。

問 月原残土処理場への近隣住民からの苦情対応は。



ようやく町道になります

答 もう少し工事が進むまで我慢していただき、要望をお聞きしながら工事をしていきます。

田子診療所施設整備費

277万円

田子診療所に感染防止用の个人防护具の保管施設を整備します。

問 安良里診療所には要らないのか。

答 安良里診療所は既存の倉庫で保管します。

宇久須隧道坑口用地購入費

32万6千円

落石対策工事のための用地購入費です。

問 用地の購入が必要か。

答 防護ネットを設置しますので、構造物を設置する箇所は、用地の購入が原則になります。

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	松田貴宏	浅賀元希	仲田慶枝	堤 豊	芹澤 孝	高橋敬治	山田厚司	西島繁樹	堤 和夫	増山 勇	議決結果
第4回臨時会	専決処分の承認 一般会計補正予算(第7号) [1050万円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	承認
	(普)浜川災害復旧工事請負契約の締結 [工事費6296万4千円で契約するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第8号) [896万9千円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
12月定例会	企業版ふるさと納税基金条例の制定 [寄付金を翌年度事業にも利用できるよう、基金を制定するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	診療所設置条例の一部を改正 [表記誤りを訂正するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	防災センター条例の一部を改正 [仁科浜地区津波等避難施設を追加するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡地方税滞納整理機構規約の一部を変更 [森林環境税などを滞納処分事務に追加するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	西豆衛生プラント組合規約の一部を変更 [新斎場建設に伴い規約を変更するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第9号)修正動議 [伊豆海認定こども園費の津波避難シェルター500万円を削除するもの]	○	×	×	—	○	×	×	×	×	×	修正案否決
	一般会計補正予算(第9号) [5922万4千円を増額するもの]	×	○	○	—	×	○	○	○	○	○	可決
	田子診療所の指定管理者の指定 [指定管理者に地域医療振興協会を指定]	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	可決
	安良里診療所の指定管理者の指定 [指定管理者に地域医療振興協会を指定]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	「はんばた市場」の指定管理者の指定 [指定管理者に西伊豆産地直売企業組合を指定]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	「こがねすと」の指定管理者の指定 [指定管理者に伊豆半島ジオガイド協会を指定]	○	○	退※	—	○	○	○	○	○	○	可決
	西伊豆町有12施設の指定管理者の指定 [指定管理者にビル保養グループを指定]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険事業特別会計補正予算(第2号) [1億3910万円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	サンセットコイン事業特別会計補正予算(第1号) [80万円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業会計補正予算(第2号) [317万8千円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	温泉事業会計補正予算(第1号) [63万6千円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第10号) [950万円を増額するもの]	×	×	○	—	×	○	○	○	○	○	可決
	伊豆縦貫自動車道の早期全線開通を求める意見書	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決

議長(堤 豊)は採決に加わりません。

※仲田議員は「こがねすと」の伊豆半島ジオガイド協会の代表者であるため、採決に加わりません。



やま だ あつ し
山 田 厚 司 議員

耐震シェルター・防災ベッドの制度を (町長) 他の市町を参考に設計したい

質問 木造住宅の耐震対策の耐震シェルター、防災ベッドなどは県の補助もある。

他市町の取り組みもあり、制度設計すべき。

町長 大変有効な手段ととらえており、今後他市町の状況を参考に制度設計していきたいと考えます。

質問 耐震診断における評価が1.0未満で対象という所が多い。県の無料診断制度を含めての考えは。

町長 耐震評価1.0未満が対象になると考えます。県の診断は今年度限りといわれていますが、診断希望者が増えており、その数値を使うことになります。

高齢者実態把握の現況は

引き続き適切に対応

質問 高齢者の実態を把握し、健康で安心な暮らしの支援を目的とする高齢者実態把握事業の現況と課題は。

町長 令和5年度で340人を訪問しました。2ヵ月に一

度、役場、地域包括支援センターの職員で情報共有会議を開催、また民生委員からの相談には、訪問確認することで引き続き適切に対応したいと考えます。

質問 体制強化の考えは。

町長 民生委員による見守り活動もあり、まずは現体制を維持しながら、今後の状況を見極めたいです。

サンセットコイン拡充は

今以上の支援は難しい

質問 町内での経済効果を高めるため、サンセットコイ

ンの還元キャンペーンの拡充を検討すべき。

町長 国は地方への交付金を倍増するといいますが、それなりの予算が来れば、還元も重要ですが、現在はそのような話はなく、今以上の支援は難しいです。

質問 普及拡大策は。

町長 基本的に利用者主体であり、ホームページなどでも広報しており、現在の方法でいいと考えます。

質問 ふるさと納税の返礼品にすることは。

町長 様々な方法を検討しながら進めている段階です。



家屋倒壊から命を守る対策を！！

不登校の新たな対策は

(町長) 県がバーチャルスクールを予定



あさ 浅賀 もと 希 議員

質問 高校生通学助成率は、松崎高校は2分の1、それ以外は4分の1となっている。ある意味不公平だと思うので助成率を同じ2分の1にすべきでは。

町長 助成率ではなく助成額から見れば、他校の保護者の方が多くなるケースもあるので、不公平とは捉えていません。県立高校への通学助成は本来県が実施すべきだと考えます。

質問 不登校やいじめ問題は地域にとっても大きな問題だが、これまでの対策に加え新たな対策はないのか。

町長 不登校の対策は、理由が様々であり即効性の対策は難しいもので町としての取組はありませんが、県がしずおかバーチャルスクールを7年度本格化運用開始予定で、町内の小中学校にも申込み案内を行い、既に申込みした方もおられます。

質問 不登校やいじめ問題は、学校の先生方も業務が多忙で、対応しきれない場合が

あるため、そのカバーとして高齢者の活用が良いと思うが実際に学校現場や適応指導教室へ行ってもらうことに何か制約があるか。

教育長 以前他の学校で保護者が教室に入った時は、先生に対する信頼感がなくなり逆効果でした。しかし適応指導教室で子供に寄り添いよく話を聞くという形ならありがたいと思います。

バイオマス発電事業の地区との合意形成は

大事なことだとの考え

質問 町では新たにバイオマ

ス発電事業を展開していきますが、地区住民との合意形成は。

町長 地区の方々との合意形成は大事なことを考えています。説明会の開催などで丁寧に進めて参りたいと考えています。

質問 説明会の開催予定は。

町長 宇久須柴地区には既にチラシによる内容のお知らせをしておりますが、12月10日に柴公民館で開催予定です。まだ詳細が決まっていますので詳細設計が決まり次第改めて開催致します。



バイオマス発電事業の宇久須拠点



まつ だ たか ひろ
松 田 貴 宏 議員

水上オートバイの条例は (町長) 一定の効果がありました

質問 「水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例」は。

町長 メディアなどでのお知らせチラシやカードの配布などの啓発活動を行った結果、一定の効果があったと考えます。

質問 罰則規定は。

町長 静岡地方検察庁と協議を重ねています。また、下田海上保安部や下田警察署、関係団体とも調整をしています。

産業振興課長 来年の夏までにはしっかりと整備したいと思います。

質問 海水浴はもちろん水上オートバイなどで遊ぶ人も安心して遊べると良いと思うが。

産業振興課長 海域はみんなのもので、このルールに則って、地元で仕事をしている方と観光客が楽しみに来るという両面があるので、うまく調整を図りながら運用できればと考えます。

中小企業振興条例の 施策は

小口短期の資金融資 などです

質問 「中小企業及び小規模企業振興基本条例」の目的を達成するため行われてきた施策は。

町長 小口短期の資金融資やサンセットコイン事業などです。

質問 支援の主体は。

産業振興課長 町が主体でということは考えていません。商工会や観光協会と足並みをそろえていく必要があると思います。

事務事業評価は

来年度は改善を徹底

質問 事務事業評価は。

町長 決算書に付随している主要施策の成果説明書を活用します。来年度は改善を徹底し、成果説明書を事業評価資料として公開できるように努めます。

総務課長 皆様のご意見などを伺いながら付け加える所は付け加え、改善していければと思います。



みんなで仲良く海面利用

集団の中での幼児教育を (町長) するつもりです



つみ 和夫 議員

質問 令和7年3月31日までに誕生する新生児の数は5名と聞いている。早く認定こども園を建設し、伊豆海と仁科を統合して集団の中での幼児教育をしてあげなければならないと思うが町長の考えは。

町長 集団の中で幼児教育をするつもりで、今まで事業を進めて参りました。

質問 最初の文教施設等整備委員会の意見書によれば、賀茂中学に統合中に、西伊豆中学校跡地に新しい統合中学を建設する予定であった。今や、新しい中学校建設については、松崎中学校との統合を考えていかなければならないと思うが。

町長 西伊豆中学校の建設は本来は、西伊豆小中一貫校で松崎の子どもたちを受け入れることによって、西伊豆町としては、メリットがかなりあると思い事業を進めて参りましたが、現状では、松崎に統合という色が濃くなりつつあります。

再建計画は

前年対比 141%

質問 町が外国資本のホテル買収を防ぐために、融資した3億円については賛否両論あるところだが、再建計画の進捗状況は。

町長 ホテルは町からの融資により債務の返済や設備投資を行い、売り上げは前年対比141%と伸びています。

質問 ホテルの所有者は。

町長 事業承継を行っていき、しょうけいすので^{しょうけい}手続上の所有者は同じ会社が持っています。

フェリーの維持・管理は

防災上大変重要

質問 県道223号(駿河湾フェリー)の維持・管理については、南海トラフ地震が叫ばれる昨今、防災上非常に重要な案件と考えるが。

町長 防災上大変重要な案件と捉え、国県に要望していますし、発言しています。

質問 フェリーの運航を道として見て整備できないか。

町長 136号が使えない時、県道223号で物資の輸送をするよう願っています。



集団の中での教育を



ます やま
増 山

いさむ
勇 議員

8年間を振り返っての感想は (町長) 応えられるものには応えてきた

質問 8年間の町政を振り返ってどのような感想を持っているのか。

町長 町民の声には応えられるものに関しましては、柔軟にできてきたと考えます。

特に、安良里地区の旧喫茶店は、建物が崩れる前に手につけることになり現在、バス停兼ごみのリサイクルステーションとして整備を進めているところです。

質問 まちづくりで、重要と思っていることはなにか。

町長 社協の協力をいただきながら、ラジオ体操の場を広げつつ、介護保険に関する紙芝居を各地区で行い、健康への関心を高めて、現在の介護保険料は月5400円までに下げることができました。女性のお達者度は、県内15位になりました。

文教施設の進め方

色々な意見を

質問 文教施設の進め方が間違っているのでは。ワーク

ショップや諮問答申でも町の方針を示さないのでは、色々な意見が出たのでは。

町長 物事の立場の違いだと考えます。色々な意見を聞くため実施しました。

マイナ保険証を 持っていない人は

資格確認書を発行

質問 国保でマイナンバーと紐づけていない人数は。

健康福祉課長 6年5月現在国保の被保険者は1880人で、389人が紐づけされていません。

質問 紐づけていない人には

どう対応するのか。

町長 資格確認書を発行します。現行の保険証期限は、7年7月31日です。

質問 毎年発行するのか。保険料滞納者の短期保険証はどうなるか。

健康福祉課長 毎年発行します。短期保険証は廃止となります。

質問 国民皆保険制度がなくなる可能性がありマイナンバーと保険証を紐づけることには反対です。国にも意見をあげてください。

町長 国会での議論を持ち出されても権限がありません。

静岡県 国民健康保険 資格確認書	有効期限 発効期日	令和 年 月 日
記号	番号	(枝番)
氏名		
生 年 月 日	昭和 年 月 日	性別
適用開始年月日	平成 年 月 日	負担割合
交付年月日	令和 年 月 日	
世帯主氏名		
住所	静岡県賀茂郡西伊豆町	
保険者番号	220269	
交付者名	西伊豆町	
静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401番地の1 電話 (0558)52-1116		

資格確認書で大丈夫？

大城太陽光発電施設の改善指導は (町長) 進まなければ国に FIT 取消しを

※ FIT 法 太陽光パネルなどで発電した電気を固定価格で買い取る制度



たか はし けい じ 議員
高 橋 敬 治

質問 大城太陽光発電施設は改善どころか、周辺環境がどんどん悪化しているが、事業者への改善指導はどこが担当しているのか。

町長 町が主体です。県は12月末までにパネルの一部を撤去して1ha以下にするように指示し、完了しなければ国へFIT取消しを求める伝えていますが、国も事業者に対し、町の指導に従うよう口頭指示していますので、改善されなければ町からもFIT取消しを国に求めたいと考えています。

賀茂清掃センター解体は

国の助成が無いと難しい

質問 「生ごみの堆肥化事業」は解体助成の対象となるか。

町長 事業費が1千万円以上なら可能性はあります。

質問 汚染された施設は期限を決めて解体すべきでは。

町長 何も生み出す可能性のないものに、助成が無く町単費だけでは難しいです。

バイオ発電施設の概要は

宇久須2基と仁科1基

質問 地域商社の木質バイオマス発電施設の概要は。

町長 40kw 発電機を宇久須2基、仁科1基です。宇久須は売電とチップ乾燥、仁科は売電と温泉の加温です。

質問 年間の原木使用量は。

町長 およそ2300m³です。

質問 40円 /kwh での売電なら間伐由来の原木に限られるが、町内だけで供給可能か。

町長 先ずは町内と近隣市町で確保致します。

質問 森林整備の効率化や木材の安定供給のために、町有林整備の複数年契約が必要ではないか。

産業振興課長 色々な契約方法を今後検討いたします。

質問 ガス化発電の副産物「バイオ炭」は土壌改良剤として「J-クレジット認証」もできるようだが。

課長 現在のところはまだ具体化しておりません。

質問 発電出力の2～2.5倍の熱が出るが、宇久須地区での利用方法は。

課長 チップ乾燥以外はまだ考えていません。



林業活性化！！期待される木質バイオマス発電事業



なか だ よし え
仲 田 慶 枝 議員

旧西伊豆中裏山切土造成事前調査は (町長) 追加議案として上程

質問 認定こども園2園の統合移転の候補地として旧西伊豆中裏山を切土して用地を造成する案があり、建設可能性の事前調査を希望する要望書が2園の保護者から提出されているが。

町長 議員6名からの要望書も出ているので、本定例会の追加議案で上程しました。

質問 可決された場合のスケジュールは。

教育委員会事務局長 来年6～7月までかかりそうです。

質問 結果が出るまでは建設計画は進めないのか。

町長 他の案を候補に挙げて進めることはできません。

質問 同時に要望の出ている津波避難シェルターは2園に導入しないのか。

町長 伊豆海認定こども園には2基分の予算を計上しました。仁科認定こども園の導入は今後議会と協議して決定したいと考えています。
※上程された2案は一般会計補正予算9、10号で可決されました。

住宅耐震化率は

現時点で 69.5%です

質問 耐震改修促進計画では目標耐震化率95%とあるが、耐震化率は上がったのか。

建設課長 現時点では69.5%に留まっています。

質問 耐震診断の補助金が今年度で終了する方針に変更はないのか。

町長 県の施策なので町単独ではできません。今後の県の判断を注視しています。

※12/5県議会で無料耐震診断1年間延長を県知事が答弁。

質問 耐震改修を進める対策は他にないのか。

建設課長 低コスト工法の周知をしています。また、補助金請求を施工業者に委託し、利用者が立て替えなくて済む方法も取り入れたいと考えています。

質問 耐震化の進まない空き家は災害時に避難路をふさぐ危険があるが。

建設課長 法に基づいて指導を行う体制づくりを進めています。行政からの指導に対し改善が見られない場合、最終的には行政代執行による取壊しも可能となります。



旧西伊豆中裏山

不妊・不育症の助成拡充は

(町長) 総合的に検討していきたい



せり ざわ たかし
芹 澤 孝 議員

質問 不妊治療と不育症治療の助成は各自治体の政治姿勢に委ねられ県内でも格差が生じているが、町の助成も十分ではないので拡充すべきでないか。

町長 本年度に不妊治療について問合せが数件ありましたが、助成の申請をされた方はいませんでした。そのような状況も踏まえつつ、不妊不育症の治療検査費用の助成について、県や他市町の動向も注視しながら、総合的に検討していきたいと考えています。

質問 現在の助成制度は県西部の人口減少が深刻でない市町と同じだ。人口減少と不妊治療助成へはどのような考えを持っているのか。

健康福祉課長 人口減少と不妊治療助成は重要な課題と考えていますので、他の子育て支援事業と併せて総合的に考えていきます。

質問 体外受精は体調次第で年間4～5回できるが、当町の助成制度では助成金と

助成回数が十分とは言えない。助成を回数でなく助成年数としてはどうか。

健康福祉課長 指摘受けたことを踏まえて検討したいと思います。

別々で丁寧に行うべき

検証して考えていく

質問 南伊豆町は不育症治療助成制度の秀逸な助成要綱を作っている。このことが消滅可能性自治体から脱却できた要因の一つと思う。不育症治療と不妊治療の助成を一つの要綱で行ってい

るが、別々の要綱として丁寧に行うべきではないか。

健康福祉課長 各市町によって様々な助成が行われていますが、総合的に当町に合うのか一つ一つ検証する必要がありますので、意見などを参考にし、他の市町の状況をも確認しながら考えていきます。

質問 潜在的な不妊・不育症治療者を掘り起こすためにも定期的に助成制度を広報すべきではないか。

健康福祉課長 指摘を踏まえて適切に対応していきたいと思います。



出生数今年度5人、不妊・不育症治療助成拡充は喫緊！

議会の動き

第 1 常任委員会報告

11月18日に窓口税務課の所管事務調査を行いました。

窓口税務課

マイナンバーカードの更新

マイナンバーカードは、発行日から5回目の誕生日に電子証明書の更新が必要になります。また10回目の誕生日にはカードの更新が必要になります。

現在、5回目の誕生日を迎えて電子証明書を更新する住民の方が多くいらっしゃいます。7年1月からは10回目の誕生日を迎えた方のカードの更新も始まります。

更新するには、暗証番号を忘れた場合は再設定をしなくてはならないので、時間がかかることが多いようです。10年目の更新では写真撮影もしなくてはならないので、円滑に進むか心配があります。

住民の生活が便利になるように国が導入したマイナンバーカードですので、それがかえって住民に不便を強いることのないように、実際にマイナンバーカードの事務を行う地方自治体の議会から国に使いやすいシステムを求めていく必要を感じました。

第1常任委員長 松田貴宏

第 2 常任委員会報告

11月18日に「松崎町環境改善センター」で、新斎場整備に係る説明会が開催されました。

当日は、西伊豆町議会と松崎町議会への合同説明会と言うことで行政側からは、西伊豆町・松崎町両町長のほか両町の担当課職員の参加があり、以下の説明が行われました。

(1) 事業の進捗状況

【火葬炉等整備について】

入札公告を5月に開始し、1社からの応募がありプロポーザル審査のヒアリングを受け十分な実績があるとのことから富山県の企業が候補者として決定されました。

【基本設計委託について】

入札公告を5月に開始し、3社からの応募がありプロポーザル審査のヒアリングを行い総合的に優れた提案とのことから静岡市の企業と8月23日に契約締結に至りました。

(2) 今後のスケジュール

令和7年度	実施設計業務締結及び建設地既存建物の解体並びに造成工事
令和7～8年度	新斎場建設工事
令和9年4月	供用開始



2町議会合同説明会の様子

第2常任委員長 浅賀元希

合 同 常 任 委 員 会 報 告

西伊豆町文教施設等整備委員会は「西伊豆町立認定こども園整備計画候補地選定について」の答申で、中田避難地付近（安良里地区）を第一候補地としました。

議会ではこの候補地についてダンプトラックの影響が考慮されていないのではとの指摘があり、調査の必要があるため、合同常任委員会として「中田避難地付近の建設候補地としての適否について」の調査検討を進めました。

5月14日から11月19日まで調査を行い、11月21日に結果を議長から町長に報告しました。



ダンプ走行影響調査中の議員

【ダンプトラック走行の影響についての現地調査】

調査期間中に、安良里地区でのダンプトラック運搬がなかったため、宇久須地区でのダンプトラック運搬の様子をもって類推することになりました。

【中田避難地周辺住民への聞き取り調査】

走行路線付近の住民からは約15～20年前の最盛期のころは粉じん、騒音、振動がひどく、日常生活に影響が出たという意見が大多数を占めました。

一方で中田避難地付近の住民からは風の影響で粉じん被害はあったが、騒音、振動の影響はあまり感じなかったとの意見もありました。

ダンプトラック以外に発破による振動がひどかったという意見も多数ありました。

【まとめ】

ダンプトラックの影響が大きく、候補地として適していないとする委員が6名で、過半数が適していないという結果になりました。

高橋 敬治

認定こども園PTAからの要望書

11月18日仁科認定こども園PTAから「防災シェルター導入についての要望」が、また同日、伊豆海認定こども園PTAからも「園の防災対策強化、津波避難シェルターの設置について」の要望書がそれぞれ議長に提出されました。



まずは伊豆海認定こども園に導入予定

11月18日仁科認定こども園PTAと伊豆海認定こども園PTAの連名で「こども園建設に関わる切土調査の要望」が議長に提出されました。

現在こども園の建設には中田避難地付近が第一候補に挙げられているが、保護者は総会、臨時会を開き何度も話し合った結果、仁科地区にこども園を建設してほしいという意見が多数挙がったとのことです。

しかしながら、現在の仁科地区には津波や土砂災害の危険を回避できる適地がないことから、仁科小学校から旧西伊豆中学校にかけての裏山を切土する案について、建設が可能なのかの調査に早急に取り組んでほしいとの要望書です。

高橋 敬治

町村議会広報研修会報告（9月25日東京都）

東京都港区のニッショーホールで開催され、広報編集委員4名が参加しました。

- ① 「読まれる議会広報の作り方」
（一社）日本経営協会講師 中本 正樹氏
- ② 「パッと伝わる広報紙に！やってはいけないデザイン講座」
グラフィックデザイナー 平本 久美子氏
- ③ 「読まれない議会だよりに出す意味なし 聴く・動く寄居町議会の挑戦」
埼玉県寄居町議会 鈴木 詠子氏

読まれる議会だよりにするために、町民とどれだけ近づいて行けるように工夫をすることが大切だと思いました。ただ、②の講義は昨年と同じだったので残念でした。

これからの議会だよりづくりにも大胆な紙面づくりに取り組むことが必要と感じました。



広報研修会の様子

広報編集副委員長 増山 勇

賀茂地区市町議会議員研修会報告（10月11日西伊豆町）

西伊豆町健康増進センターで開催され、議員9名が参加しました。

「地方議会の改革と『なり手不足』問題」
毎日新聞論説委員 ひとり 人羅 格 氏

前回と同様、下田市の議員も含め56名が参加しました。

議会の改革は、2006年の北海道栗山町での議会基本条例が最初で、そのポイントは以下です。

- ①住民との接点を多様化する。距離を縮める。
- ②議会内の議論、討論を活発化する。
- ③政策提案、議案修正、議員提案条例などの「結果」を住民に示す。
- ④活動の情報を公開する。

その後、全国の事例が紹介されました。

近年は議員の成り手が少なく無投票や定数割れが増えているとのこと。このことは二元代表制の根幹を揺るがす問題で議会でも方策が必要です。

また、女性の進出が重要とも語られました。

西伊豆町では、今年が改選期です。女性も含めて多くの方が立候補されることを望みます。との感想を持ちました。



研修中の議員たち

第2常任委員会副委員長 増山 勇

富士見町・西伊豆町議会議員交流会報告（10月28日、29日）

富士見町議会議員9名と事務局長が当町を訪れ、研修や議員交流会など互いに有意義な交流会となりました。

【研修：「西伊豆町における海業振興の取り組み」】

富士見町からの希望で、産業振興課農林水産係が「ツッテ西伊豆」や「海釣りGO!!」の説明をしました。この研修を受けて、翌日はんばた市場で当町の取り組みを実際に見学されました。

【堂ヶ島公園】

洞くつめぐりの遊覧船に乗船し、久しぶりの堂ヶ島を堪能されたと思います。

【議員交流会】

宿から『ふるさと』と言いたくなる夕陽のまちを楽しまれ、懐かしい顔、初めての顔、和やかな交流会でした。移住促進の秘策や高齢者福祉なども話題に上り、姉妹町の良さをしみじみと感じられたのでは。

【AGCミネラル㈱伊豆けい石鉱山見学】

けい石鉱山を高橋敬治議員と伊藤AGCミネラル㈱伊豆事業所長が案内しました。

【黄金崎クリスタルパーク】

「ガラス文化の里」の象徴を見学されました。



けい石鉱山見学の様子

副議長 仲田 慶枝

国への意見書の提出

伊豆縦貫自動車道の早期開通を求める意見書

伊豆縦貫自動車道の日も早い全線開通を目指して、次の2点を要望する意見書を全員賛成で国に提出することになりました。

1. 河津下田道路について、事業を推進し早期に全線開通すること
2. 天城峠道路について、早期工事着手と未事業化区間の早期事業化を図ること

提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣（防災、海洋政策）、財務大臣、国土交通大臣です。

6年の能登半島地震では、幹線道路が土砂崩れなどにより通行止めとなり支援物資の輸送や救援部隊の移動に多大な支障が生じました。

南海トラフ巨大地震が発生した場合、急峻な

地形を有する伊豆半島は陸の孤島となる可能性が高く、緊急輸送道路としても伊豆縦貫自動車の整備が不可欠です。

「命の道」の役割である伊豆縦貫自動車道の早期全線開通により、伊豆半島の経済的発展や観光振興だけでなく、安全安心な生活環境の確保を求める意見書です。

当議会は、伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会と伊豆縦貫自動車道建設推進期成同盟会を通して、早期開通を要望してきましたが、あらためて議会として、直接国に意見書を提出するものです。

松田 貴宏

議会ってどんなところ？

今議会では16町営施設の指定管理者指定について大きく時間が割かれました。来年度以降5年、施設によっては10年の協定を結ぶことになります。指定管理とはどういうことでしょうか、どうやって決まるのでしょうか。業務委託という言葉も耳にしますが、何が違うのでしょうか。

指定管理とは、

町が所有する公共施設を民間に運営してもらうことです。2003年の地方自治法の改正により、従来の町直営から、民間に管理してもらうことが可能になりました。多様化する住民ニーズに柔軟で効率的に対応できるように民間の能力を発揮してもらおうというわけです。期待は大きいですね。町内19施設が「指定管理者制度」を導入していますが、診療所や漁港などはその施設の性格上、「随意契約」を結びます。町が任意に受注者を選んで契約をする非公募という形をとり、その他は希望者を公募して審査によって候補者を決定していきます。いずれの場合も、商工会や観光協会などからの住民代表、中小企業診断士、金融機関、町の課長らが委員となる「指定管理者選定委員会」で審査されます。その後、議会議決を経て指定管理者の指定となります。選定委員会では具体的な計画や意欲など問われます、鋭く厳しい質問が飛び、周到な計画と準備なくては指定を受けることができません。



指定管理施設のこがねすと

一方、業務委託とは、

シルバー人材センターへの緑化業務やライフセーバーなどは「業務委託」という契約をします。公共サービスに関する特定業務を担ってもらうものです。指定管理と同様に効率化や専門性の高い業務をお願いするのですが、範囲は限定されていてやり方も町が指示します。

年間予算には多くの業務委託が契約されています。多様な方々に手伝っていただいて町は成り立っているのですね。

議会だより第77号・第78号の訂正とお詫び

- ①第77号4ページの一般会計補正予算（第2号）修正案の説明において、「3億円を0円に減額します。」となっていました。が、「3億円を0円にしたいものです。」の誤りでした。読者の皆様に誤解を招くような表記となりお詫び申し上げ、訂正いたします。
 - ②第78号10ページの議決結果において、最下段の山田厚司議員の表決欄が「－」となっていますが、「×」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。
- 今後とも分かりやすい議会だより編集に努めて参ります。

令和7年1月15日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、気軽にお聞かせください。TEL：52-1962